



はは歯クラブだより



NO.34

長崎市鳴見台小学校
学校歯科医 行成 哲弘



医療法人

ゆきなり小児・矯正歯科

こんにちは！

今回は、フッ素について7回目で「小学校で行うフッ素洗口の実際の使用」についてです。ここでは0.2%フッ化ナトリウム溶液を使用する“週1回法”についての方法です。

- ① 使用する薬剤は、市販されているフッ化物洗口剤、ミラノール®(株)ビーブランド・メディコ・デンタル社>1.8gを100ccの水道水で溶かした洗口液を用品います。100ccで10~20名分です。



- ② 児童のコップに5~10ccの洗口液(1年生は5cc 6年生は10cc)を注ぎ分け、30秒ブクブクうがいをし、コップに吐き出します。誤飲を予防するため、洗口はできるだけ下を向いて行うよう姿勢に注意します。

費用：1.8g×60包で6700円、1包112円となります。

1人1回あたり、5.6~11.2円です。小学校に行く期間を1年間45週と計算すると

$$5.6円 \times 45回 = 252円 \sim 11.2円 \times 45回 = 504円$$

お薬代だけです。他にフッ素水溶液を作るための容器も必要ですが、それでも児童1人当たり年間600円以下でむし歯予防ができます。

フッ素洗口について保護者の同意のない児童は、水道水で洗口するなどの配慮をします。

(日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

『ゆきなり』で検索すると簡単です。